令和６年度　学校図書館全体計画

学校教育目標

・学習指導要領　・学校図書館法
・江戸川区教育ビジョン
・子ども読書活動推進計画

・自ら学び、進んで働く生徒
・心身ともに健康な生徒
・自他を尊重して、協調性を発揮する生徒
・社会に対する責任を自覚して実践する生徒

・朝読書等をきっかけに、生徒の読書率は上がっているように感じる。
・自由に読書する時間の確保が課題である。
・読書科を通して物事を深く探求する力が伸びた。
・各教科の授業で図書室を利用する機会は少ない。

学校図書館の目標

豊かな心を育てる読書活動の推進

ねらい

①生徒の読書意欲を盛んにし、豊かな心と人間性、幅広い知識を身に付けさせる。
②多様な資料から目的に応じた資料を選び、情報解決能力を育成する。

指導の重点

①教育課程全体を通して、学校図書館の活用を推進する。
②学校図書館を各教科の学習における「情報センター」として活用し、学習の充実をはかる。
③生徒の主体的、対話的かつ探究的で深い学びの実現に向けた自主的、自発的かつ協働的な学習活動を支援する。

具体的な取り組み

各教科について
・図書館機能を活用し、課題解決学習、調べ学習、個別指導やグループ学習の場とする。
・情報の収集、処理等、情報活用能力を養う。
・読書指導を行い、読書習慣、態度を養う。

総合的な学習の時間について
・学び方や考え方を身に付ける。
・課題の解決、探究に主体的に取り組む。

道徳について
・図書資料などを通して、様々な生き方や考え方に接する中で、自分を深め、道徳的心情を培う。

読書科について
・かつて教育課題実践推進校として行った実践、取り組みを活かした探究的学習活動の推進
・朝読書の推進
・レポート、論文の作成、発表活動等による意欲の向上
・１年環境、２年国際理解、３年伝統文化のテーマに基づいた主体的かつ探究的学習

特別活動について
・図書委員会を中心に、生徒が自主的により良い図書室にする意識をもたせる指導
・本のリクエストを募り、購入の参考にする

家庭・地域との連携について
・バーコード管理による貸し出しカード共通化をきっかけに、より公立図書館との連携が期待される